

令和4年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

目次

| | | |
|-----|--------------------------------------|----|
| I | 公益事業関係 | 2 |
| 1 | 障害者関係事業 | 2 |
| | (1) 第37回東京都障害者総合美術展 | 2 |
| | (2) 東京都障害者休養ホーム事業 | 2 |
| 3) | 令和4年度「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル | 3 |
| | (4) 第39回障害者のためのふれあいコンサート | 4 |
| | (5) 第37期パラアートスクール（障害者のカルチャースクール） | 5 |
| | (6) パラアート国際交流事業 | 6 |
| | (7) 明治神宮例祭奉祝「奉納第79回全日本力士選士権大会」への招待事業 | 7 |
| 2 | 高齢者関係事業 | 7 |
| | (1) 第22回クプナ・フラ・フェスティバル | 8 |
| | (2) 第26回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル | 8 |
| | (3) 高齢者のはつらつカラオケコンクール | 9 |
| II | 共催・後援・協力事業 | 8 |
| | (1) 第56回スポーツの集い | 9 |
| | (2) 第58回東京都老人クラブ芸能大会 | 9 |
| III | 東京都福祉サービス第三者評価 | 10 |
| IV | 法人の運営 | 11 |
| 1 | 理事会・評議員会等 | 11 |
| 2 | 後援会等 | 12 |

1 障害者関係事業

(1) 第37回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃からの研鑽を積み重ねて創作した作品を発表する機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露し、その能力を基にした自立と社会参加を促進することを目的に毎年開催している。

感染症拡大防止を考慮しつつ、1年ぶりに西武池袋本店の協力の下、200点の作品を展示し、多くのお客様にご来場頂いた。また、表彰式には高田宮妃殿下もご列席され、お時間の許す限り展示作品をご観覧された。

主 催：東京都

主 管：日本チャリティ協会

会 期：令和4年7月15日（金）から7月19日（火）西武池袋本店催事場

内 容：募集方法：公募（都内在住の障害者）

募集内容：絵画・造形・書・写真

応募点数：絵画 454 点・造形 85 点・書 57 点・写真 25 点 計 621 点
（前年度 計 670 点）

入選点数：絵画 141 点・造形 29 点・書 20 点・写真 10 点 計 200 点

審査員：建畠哲、友永詔三、堀吉光、板見浩史、篠和子、八代英太

審査会：入選作品写真審査：6月13日（月）都庁会議室

入賞作品審査会：7月13日（水）茗荷谷研修センター

(2) 東京都障害者休養ホーム事業

障害者のある方々の保養等を目的として、東京都指定の宿泊施設を利用した際、その宿泊利用料の一部を助成し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活を実現することを目的にした事業で、この事業の実施に係る業務を東京都からの委託を受けて実施した。

主 管：東京都

管 理：日本チャリティ協会

受託期間：令和4年4月から令和5年3月まで

利用対象：都内在住の障害者及び付添者（都内在住に限らない）

受託内容：休養ホームに関する問合せ対応、利用申込受付、利用券発券処理
施設利用料助成金精算業務

年間利用者（令和4年度は利用泊数）

| 区分 | | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 |
|----------|------|--------|--------|--------|
| 利用者数（泊数） | | 4,901泊 | 2,927名 | 2,383名 |
| 内 訳 | 身体障害 | 2,696泊 | 1,442名 | 5,209名 |
| | 知的障害 | 1,416泊 | 488名 | 8,068名 |
| | 精神障害 | 789泊 | 453名 | 1,258名 |

指定施設：（数字）は都指定施設の数 合計32施設（前年度32施設）

| | |
|-----------------|---|
| 北海道（1） | レラ摩周（途中解約） |
| 東北方面（2） | 湖畔のホテルクオレ、そば庵しづか亭 |
| 常磐・関越方面 （10） | いこいの村酒沼、亀の井ホテル大洗、休暇村奥武蔵、ガストホフエール、亀の井ホテル塩原、なかが和苑、まついだ森の家、湯沢ニューオータニ、ホテルエフ、ニューグリーンピア津南 |
| 房総方面（2） | 亀の井ホテル鴨川、亀の井ホテル九十九里 |
| 中央線・信州方面 （6） | 亀の井ホテル青梅、ライフクオリティ・カーザ、シャトレゼホテル石和、富士レークホテル、ペンションさゆ〜る、旅館はくら |
| 伊豆・箱根方面 （9） | すばる、箱根高原ホテル、亀の井ホテル熱海本館、亀の井ホテル熱海別館、ペンションひゅっかり、埼玉県伊豆潮風館、ウエルカム・インサニーステップ、亀の井ホテル焼津、亀の井ホテル知多美浜、サポートイン南知多 |
| 関西方面（2） | ホテルビナリオ嵯峨嵐山、神戸ポートピアホテル |

（3） 令和4年度「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和56年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機にして、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めることを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会

後 援：厚生労働省

期 日：令和4年12月5日（月）

場 所：東京都庁 第一本庁舎5階 大会議場

時 間：開場:12:00 開演:13:00 閉会:15:10

① 記念式典

・挨拶：雲田 孝司・東京都福祉保健局次長

・祝辞：内山 真吾・東京都議会厚生委員会 委員長

・表彰： 障害者自立生活者(2名) 自立支援功労者(5名)

・謝辞： 岡部 利明・受賞者代表

② ふれあいステージ(13:50～15:10)

・器楽演奏： 都立板橋特別支援学校 音楽部1～3年生15名

・ダンスパフォーマンス： 光陽師想真さん

・和太鼓： 富田安紀子さん

・ふれあいトークショー： 杉浦佳子さん、鈴木孝幸さん、宮下純一さん

③ 参加者 コロナ対策を講じて開催、一般来場者は前回開催(コロナ前)の5分の1程
62名 (2019年 約300名)

| | |
|---------|------|
| 来場者(応募) | 62名 |
| 出演者 | 37名 |
| 受賞者 | 10名 |
| 来賓 | 18名 |
| ボランティア | 24名 |
| スタッフ | 26名 |
| 合計 | 177名 |

(4) 第39回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供することによって、障害者の積極的な社会参加を促進し、豊かで生きがいのある暮らしを実現することを目的として、毎年開催している。

主 催： 東京都、日本チャリティ協会、東京都交響楽団

期 日： 令和5年2月26日(日)

場 所： 文京シビックホール 大ホール

開 催：

第1部 ～TSUKEMENスペシャルステージ～ TSUKEMEN

第2部 ～都響シンフォニックステージ～

指揮 横山 奏 管弦楽団 東京都交響楽団

① 応募者数及び当日来場者数

応募者数 1,063名 (うち障害者448名) 第35回 1,439名 (606名)

当日来場者数 886名 (うち障害者369名) 第35回 1,114名

・第36～38回開催中止、令和元年第35回以来、4年振りの開催

・新規来場者増 200名 構成比 60% 構成比前回差 +23%

- ・ 2回目以上参加者大幅減 134名 前回 385名 前回比 34%
固定客・リピート客の減少、開催中止3回の影響大

② 他、動向

- ・ 新宿文化会館リニューアルのため、文京シビックホールで初開催
- ・ コロナ対策として、初の全席指定、事前指定席チケット送付の運営
- ・ 事前告知により相互理解を深め、コンサートの評価を高める

(5) 第37期パラアートスクール

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発と育成を目的に、各界より実績のある作家を講師として実施した。また、豊島区の「としまアート教室」について、運営を受託された。

主 催：日本チャリティ協会

期 日：令和4年4月から令和5年3月まで（実技指導 年18回）

場 所：東京都障害者福祉会館

内 容：全3コース/Aマンガイラスト・絵画、B絵画・造形、C書道

講 師：A タナカミノル、八木道夫 B 椎葉聡子、友永詔三 C 石渡鷺遊、堀吉光

○開講式

感染拡大により三密を避け令和4年4月3日（日）2部に分散して開催。

受講者：

| コース | 第37期 | 第36期 | 1. コース | 第35期 |
|--------------|------|------|---------|------|
| A マンガイラスト・絵画 | 18名 | 18名 | マンガイラスト | 9名 |
| B 絵画・造形 | 17名 | 16名 | 一般絵画 A | 14名 |
| | | | 一般絵画 B | 15名 |
| C 書道 | 12名 | 14名 | 書道 | 13名 |
| | 47名 | 48名 | 合 計 | 51名 |

○作品展

期 日：令和5年4月13日(木)から16日(日)まで

場 所：エコギャラリー新宿

内 容：パラアートスクール生徒の作品を展示

○修了式

37期「パラアートスクール」の修了式は三密を避けて2部に分散して開催。

期 日：令和5年3月19日（日）

時 間：10時30分~11時15分-A マンガイラスト・絵画・C書コース

11時30分~12時15分-B 絵画・造形コース

場 所：東京都障害者福祉会館

内 容：主催者挨拶（日本チャリティ協会常務理事）
修了証書の授与

修了証書授与者

| コース | 第37期 | 第36期 | 第35期 |
|--------|------|------|------|
| 一般絵画 A | 18名 | 18名 | 16名 |
| 一般絵画 B | 16名 | 15名 | 14名 |
| 書道 | 10名 | 11名 | 11名 |
| 合 計 | 44名 | 44名 | 41名 |

皆勤賞授与：感染症拡大、緊急事態宣言により中止

○豊島区「としまアート教室」の運営

期 日：令和4年8月から令和5年2月まで

内 容：豊島区障害者施設を利用した10回の連続講座に講師を派遣。14名の受講者が各自で決めたテーマに沿って制作、作品は豊島区主催の第16回美術展「ときめき創造展」に展示された。またコロナウイルス感染拡大を機会に「ときめき創造展」はWEBにおいても公開を行う。

(6) パラアート国際交流事業

目的:今日、世界中で推進されているSDGsと、サステナブルな視点で当協会が活動推進してきた「パラアート」障がい者アートの発展を目指して、活動環境育成支援、その特性による芸術的表現の価値の認識、就労や収益による自立に向けた障害者(児)の社会参加への促進を意図して開催。また、WEBの活用や、スマホ、SNSを日常的に使用する障害児の若い親世代にも受けやすいフォーマットを加える事により、障害児の一層の参加を促すと同時に、コロナ禍においても継続可能な形態での国際交流を通じ、TOKYO オリンピック・パラリンピックのレガシーとしても共存共栄の国際社会に向け、アクセシビリティな活動支援を支援した。

1. 「2022 パラアート TOKYO」第9回国際交流展

(開催日時) 令和4年9月1日(木)～5日(月) 会期5日間 10時～18時

(開催場所) 東京芸術劇場 ギャラリー1

(来場者数) 延べ 1,185人

(作品展示) 210点 (応募数 主に国内より601点、外国は主に団体推薦)

絵画作品 日本102点 児童18点 海外52点 児童個人5点 グループ1点

書作品 日本16点 中国8点、韓国8点(書画含)

(参加国) 18か国2地域(香港・台湾)

2. <バーチャルギャラリー>の開設

インターネット上に2022バーチャルギャラリー
<https://virtualgallery.paraart.jp/2022/>を開設し、世界へ発信し、外国の出展者や会期中にコロナの影響で来場できない方々へ公開を行うと同時に、会期終了後も全作品の鑑賞ができるよう継続掲載し、多くの方々にパラアート作品の魅力を伝えることができた。

3. <パラアートワークショップ・リモートによる講習会>の開催

制作活動を通じて、地域と密接に関係を持ち、交流を助け、共存共生の社会へ繋げる事を意図し、多様な社会へ向け誰もが参加できるワークショップをパラアートスクールとリモート、WEBを活用して開催した。

日時 2022年11月20日(金)10時30分～12時

場所 豊島区心身障害者福祉センター(大会議室)

東京都障害者福祉会館 (集会室A オンラインライブ開催)

内容 クリスマスや新年に向けたリースづくり

講師 パラアートスクール絵画・造形講師

参加人数 会場 計35名 WEB参加者多数

<報告記録> 別添

1. 図録 2022パラアート事業報告も兼ねて10月完成 500冊

出展者、助成、後援、協力他関係者に配布

(7) 明治神宮奉納「第79回全日本力士選士権大会」招待事業

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受けて、全日本力士選士権大会の招待事業を毎年実施している。

主催： 明治神宮

協力： 日本相撲協会、日本チャリティ協会(昭和56年第41回から協力)

期日： 令和4年10月3日(月)

時間： 12時開始

場所： 両国国技館

感染症拡大防止から、バスでの団体参加なし、個人募集なし、国技館内での飲食禁止の中、という厳しい実施条件の中での開催となった。社会福祉法人などの団体

に向けて案内を行い、170名ほどの参加者に久しぶりの相撲を楽しんで頂けた。

2 高齢者関係事業

(1) 第22回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによる質の高いフラダンスの発表の場を提供し、中高年者の文化活動の促進と親睦及び健康の維持増進等を図り、明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に毎年開催している。

主 催：日本チャリティ協会

後 援：ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会（予定）

期 日：令和4年6月

場 所：中野サンプラザホール

令和4年度は、感染症拡大防止に関連し大規模イベントが自粛されている状況を鑑み、昨年度に引き続き開催中止とした。

(2) 第26回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深めることによって高齢者の積極的な社会参加を促進し、より豊かで充実した文化生活の実現と高齢者福祉の増進を図ることを目的にして毎年開催している。

主 催：日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会

期 日：令和5年2月18日（土）

時 間：午前12時30分から6時まで

場 所：東京オペラシティコンサートホール

審 査 員：岸信介、安田祥子、宇佐美瑠璃、千住明、ジョン・健・ヌッツォ

参 加：全24団体

(3) 高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活を送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に毎年開催している。

第171回 大田区大会

主 催： 日本チャリティ協会、大田区シニアクラブ連合会
後 援： 東京都老人クラブ連合会
期 日： 令和4年10月3日（月）
時 間： 午前12時00分から午後3時30分
場 所： 大田区民プラザ大ホール
参 加： 44組 来場者 約250名

II 共催・後援・協力事業

(1) 第23回東京都障害者スポーツ大会「スポーツの集い（第56回）」

東京都障害者スポーツ大会の競技部門の1つとして、在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者（児）とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的として開催される「スポーツの集い」において、毎年アトラクションの企画運営の協力を行う。

主 催：東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団
後 援：特別区長会 東京都市長会 東京都町村会 日本チャリティ協会他予定
期 日：令和4年9月7日（水）
時 間：午前11時00分から15時15分まで
場 所：東京体育館 メインアリーナ
内 容：来場型：10団体150名団体程度、リモート型：25団体550名程度、
動画視聴型：10団体程度
会場設營業務、運営進行、業務委託アトラクションのプロデュース
・開会式（主催者挨拶、参加施設紹介、絵画入賞作品表彰、選手宣誓）
・盆パラビクス 玉入れ アトラクション（30分程度）
・100m競争 30m競争 つなひき リレー
・閉会式

本年度については、東京都障害者スポーツ協会より企画運営等業務委託の指名競争入札6/13参加依頼があったが、従来のアトラクション企画運営のみでなく、大会全体の大規模な企画運営業務であったため、請け負は非常に困難と判断をし、入札を辞退した。

(2) 第58回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ（区市町村単位）が健康増進及び会員相互の交流と親睦のため

に取り組んでいる。

主 催： 東京都老人クラブ連合会

後 援： 日本チャリティ協会他

期 日： 令和 4 年 9 月 15 日(木)

場 所： 新宿文化センター大ホール

Ⅲ 東京都福祉サービス第三者評価

高齢者、障害者福祉施設等のサービスを、事業者・利用者いずれにも利害関係のない第三者の立場から、専門的かつ客観的に、サービスの内容や質、マネジメントの力などを評価する事業であり、協会所属の評価者により幅広い福祉サービスの評価を実施、東京都福祉サービス評価推進機構を通じて、利用者への的確な情報を提供している。

評価実施件数：40 件（前年度 16 件）

《福祉サービス分野別内訳》

| | |
|-----------------|------|
| 高齢者福祉サービス分野 | 5 件 |
| 障害者（児）サービス分野 | 33 件 |
| 児童・生活保護等のサービス分野 | 1 件 |
| 利用者調査 | 1 件 |

評価従事評価者数：20 名（協会登録：主たる評価者 14 名、従たる評価者 6 名）

IV 法人の運営

1 理事会・評議員会等

(1) 理事会の開催

①令和4年度第1回理事会

期 日：令和4年5月26日（木）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

議事案件

ア. 新会長（代表理事）選出について

イ. 令和3年度事業報告案について

ウ. 令和3年度決算報告案について

エ. 令和4年度定時評議員会開催について

協議報告案件

ア. 事務局業務執行報告について 他

②令和4年度第2回理事会

期 日：令和5年3月23日（木）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

議事案件

ア. 令和5年度事業計画について

イ. 令和5年度事業計画について

協議報告案件

ア. 事務局業務執行報告について 他

(2) 評議員会

①定時評議員会

期 日：令和4年6月24日（金）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

ア. 令和3年度事業報告案について

イ. 令和3年度決算報告案について

協議報告案件

ア. パラアート関連事業、事務局業務執行報告について

(3) 監事監査の実施

期 日：令和4年5月10日（火）

場 所：感染症拡大防止の観点より個別に監事を訪問して行う

内 容：令和3年度決算審査について

2 後援会等（通年）

協会の活動を支える後援会等の充実を図り、障害者・高齢者ならびに福祉関係者やボランティアを音楽、芸能スポーツ等の催物に招待、会員の拡充につなげた。

(1) 「クォーターニュース」の発行 111号1,000部

| 区分 | 報 告 | 特 集 |
|---------------|-------------|---|
| 2022-Vol. 111 | 会長. 副会長年頭挨拶 | 高木前会長を偲んで パラアート 2022 TOKYO 第 9回国際交流展 第36回東京都障害者総合 美術展 WEB 展開催 他 |

- (2) 後援会会員 30名（令和5年3月31日現在数）
賛助会員 11名（令和5年3月31日現在数）

(3) ボランティアの協力支援（通年）

本協会が事業を推進していく上において、ボランティアの協力は欠かせないものとなっており、その組織化を図っている。

主な分類：協会のイベント参加者並びに企業OB、シニアボランティアクラブ、自薦の有志

参加事業：障害者総合美術展、パラアート展、スクールなどの各種イベント・教室の受付、会場整理、アンケート調査発送、ビデオ・写真撮影 等